

去る三月二十一日の例会終了後、恒例の春季特別講演会が研修委員会により開催された。

講師の川谷潤太氏は、兵庫県の大手学習塾において、当時最年少で校長に就任。一教室で一〇〇〇名以上が通う教室運営の傍ら、入試特番テレビのコメンテーターや職員研修なども担当。二〇一三年には全国六万人の学習塾講師の中でN.O.1を獲得、三年連続第一志望全員合格などの実績も残されている。その後、岡山県の創志学園高校へ赴任され、教育開発室長・企画課長を歴任。学校改革プロジェクトとして学校運営にも貢献された。

本日の講演テーマは、「潜在脳力を高めれば職場が変わる」モチベーションと一人ひとりの資質向上」で

二〇二四年春季特別講演会

潜在脳力を高めれば職場が変わる
モチベーションと一人ひとりの資質向上



メンタルプロデューサー

川谷 潤太氏



発行 大阪倉庫協会
大阪 市 中央区 今 橋
2丁目3番21号(今橋藤浪ビル)
編集 発行人 筑紫敬司
<https://www.soukoweb.jp/>

ある。

まず、参加者に一本の動画を見てもらい脳力チェックを行った。白い服と黒い服を着た人がいて、服の色でチームになっている。それぞれのチーム内でバスケットボールでパスを出しながら動き回っている。白チームのパスの回数を数えるという問題。正解は十五回であったが、そこがポイントではなかった。動画の中にゴリラの着ぐるみを着た人がいて、ゴリラに気付いた人がいたが、気付かない人が圧倒的に多かった。何故こんな結果になったのか。意識の向きである。白チームの方に注目したので、意識は白の方に向いていた。人間の脳は心が向いている情報だけを認知する。

意識の向きがポイントとなるので、川谷氏がこれまでスポーツチーム、教育の現場、企業のバックアップ・サポートでポイントとしてやってこられた事例について説明された。企業のサポートに行くと、成果・売上・目標達成が問題となる。行動や習慣を変えていくことが大事になっているが、それを支えるのは心。一人ひとりの心のエネルギーをどうやって高めるかがポイント。心のエネルギーは言い換えれば、元気とかやる気といったもので、それらが上がることをとにかく徹底的にやっていくサポートを行っている。

次に、心のエネルギーを高めるための二つの力について紹介された。

一つ目は先手力。心のエネルギーが枯渇してしまうと鬱になったりひきこもりになったり無気力になったりする。上げていかなければならない。意識が未来に向くように持つていく。今すぐ人間関係でよくしゃくしていて大変だが、数日後に自分の好きな歌手のライブがあると思ったら頑張れる。意識が未来の方向に向くだけで人は頑張れる、心のエネルギーが高まっていく。これが先手力という目的。未来を明確にしておけば、目の前にある逆境や苦難はすべて通過点になり、逆に楽しめるようになる。

二つ目は集中力。集中力は仕事のパフォーマンス、働き方改革、全部に生きてくる。集中とは、今するべき現実と心が一致している状態をいう。もしするべき現実と心が向いていない時、その心を雑念といい、ミスや失敗が増えるだけでなく、何をやってもうまくいかない。例えば野球でいうと、バッ

ターボックスに立つと相手投手のことが気になる。打てなかったらどうしよう、失敗したらどうしよう、フォームを気にしている、監督の顔を気にしているなど、これらは本来集中するべき現実とは別のところに心が向いているので、集中出来ない状態である。大事な試合など、選手は緊張したり不安があったり、観客の方が気になったり色々な雑念が湧く。

集中力を高める簡単な方法として

「ボール積む法」がある。机の上などにボールを一個置いておき、その上にボールを重ねて乗せる。下のボールは現実のボール、上のボールは心のボール。ピタッと一致する時だけ乗せることができる。集中しようと言っても、集中とは感覚でしかつかむことができないので、集中の感覚を身体に染み込ませておくと、本来するべきことへもしっかり心を向けることができ、いつも通りの実力が発揮できる。



福島県 花見山 松本邦雄氏撮影

もう一つの簡単な方法は「一点凝視法」。小さな点を三秒〜五秒ほどじっと見つめることで、集中させることができる。三つの黒い点があつて、その中で一つの点をじっと見てポイントを合わせると他の二つの点がすっと消える。点にポイントを合わせれば雑念が消える。これで意識の方向が外側へ向き、対象に向かって集中することができる。

もう少し集中力を深掘りすると、集中とはするべきことに意識を向けること。集中するべきことは外側にある。ボールとか人の話も外側、運転中なら対向車・歩行者・標識全て外側にある。一点凝視は、外側に意識を切り替えるきっかけにもなる。何かやるべきにいったん外側に意識を向けておくと集中しやすくなる。内向的な集中が習慣化、慢性化してしまうと心のエネルギーがマイナス方向に動いて鬱が発症する。外向的に集中するよう習慣化していくことが非常に重要である。

指導する人が、「お前さあ」とか「あなたね」とか「君ね」とかいう感じで指示をすると、言われた本人は内側を向くので内向的な人間を作ってしまうので要注意。「じゃなくてこれはこういうよ」、「こうやって」とか対象に向かって指示する感じでやると上手くいく。

意識を外側に向ける習慣として整理整頓がお勧め。整理整頓することが目的になっては内側に向いてしまう。やらされている感があるから。大事なものは心を込めてやる。これを徹底してやると意識は外側に向き、これが習慣

大阪倉庫協会理事

株式会社西尾倉庫 会長

西尾 忠朋 氏

ご逝去



当協会理事西尾忠朋氏株式会社西尾倉庫会長は令和六年三月十九日ご逝去されました。享年八十三歳

西尾氏は昭和十四年に創立された株式会社西尾倉庫の代表取締役社長に昭和五十二年就任し、その業容を飛躍的に拡大・発展させる一方、大阪倉庫協会副会長・広報委員会委員長、社団法人日本倉庫

協会理事・評議員、社団法人大阪工業会常議員、一般社団法人関西経済同友会幹事等の要職に就かれ業界の発展にご尽力いただきました。

機関紙「蒼光」は大阪倉庫協会の前身である大阪倉庫倶楽部文化委員会が、協会への改組に際して、その記念として昭和二十七年二月二十日に創刊されました。初代の委員長はご祖父様の西尾友雄氏、二代目はご尊父様の

西尾専太郎氏がされており、三代に亘って広報委員会の委員長を務められました。

この文化委員会は昭和四十三年に広報委員会と改称され、以後は機関紙「蒼光」を通じて広報・啓蒙を主眼として活動してきました。委員長を中心に編集会議を開催し、協会活動の内外への広報及び、投稿欄を増やして読者参加型の紙面作りに努めるなど、内容の充実を図ってきました。

ここにこれまでのご功績を称え深く感謝の意を表します。心からご冥福をお祈りします。

近畿管内三協会 事務局長会議開催

去る二月九日(金)、近畿運輸局倉庫関係事業者団体(三協会)の事務局長による連絡会議を大阪科学技術センターにおいて開催した。

日銀大阪支店によると、関西の景気は持ち直しのペースが鈍化している。輸出は、弱めの動きが継続している。地域別にみると、中国やNIEs向けが引き続き低調である。電子部品デバイス、在庫調整の進捗に伴い下げ止まりつつあるが、スマートフォンやパソコン等の最終需要が依然弱く、未だ持ち直すには至っていない。

冬物衣料品などが堅調で、全体として引き続き増加傾向である。インバウンド客による免税売上も増加を続けている。サービス消費は、外食が来店客数の改善が続く中で緩やかに増加しており、忘年会や新年会も好調であった。また、旅行・宿泊も持ち直しの動きが強まっている。

企業の業況は、自動車生産の回復や価格転嫁の進捗、インバウンドも含めた人流の増加が、企業収益に繋がって

貨物取扱実績表(月平均) 令和5年10月～令和5年12月

協 会 名	入 庫 高 (千 吨)			出 庫 高 (千 吨)			保 管 残 高						会 員 数 (12月末)			所 管 面 積 (12月末)			回転率 (ト・%)
							トン数(千吨)			金額(百万円)									
	実 績	昨年実績	(前年対比)	実 績	昨年実績	(前年対比)	実 績	昨年実績	(前年対比)	実 績	昨年実績	(前年対比)	社	昨年実績	(前年対比)	千㎡	昨年実績	(前年対比)	
福井県倉庫協会	55	56	98.2%	54	56	96.4%	98	95	103.2%	44,524	40,005	111.3%	35	33	106.1%	219	197	111.2%	55.5%
滋賀県倉庫協会	316	302	104.6%	324	297	109.1%	649	665	97.6%	183,185	184,332	99.4%	87	84	103.6%	1,056	1,037	101.8%	50.2%
京 都 倉 庫 協 会	108	103	104.9%	109	104	104.8%	189	196	96.4%	118,472	104,863	113.0%	47	46	102.2%	424	414	102.4%	57.2%
大 阪 倉 庫 協 会	916	964	95.0%	935	968	96.6%	1,842	2,145	85.9%	670,476	699,943	95.8%	200	202	99.0%	3,644	3,585	101.6%	50.2%
奈 良 県 倉 庫 協 会	36	45	79.8%	38	45	84.2%	59	72	82.5%	22,215	18,332	121.2%	17	17	100.0%	126	119	105.9%	60.9%
和歌山県倉庫協会	96	96	100.0%	98	97	101.0%	223	218	102.3%	45,490	34,100	133.4%	35	36	97.2%	305	302	101.0%	43.4%
大阪府運輸倉庫協会	199	233	85.4%	198	231	85.7%	462	494	93.5%	117,132	109,367	107.1%	144	143	100.7%	935	890	105.1%	42.9%
合 計	1,726	1,799	95.9%	1,756	1,798	97.7%	3,522	3,885	90.7%	1,201,494	1,190,942	100.9%	565	561	100.7%	6,709	6,544	102.5%	49.4%

いる。業況や企業収益の改善は、企業
の設備投資や賃上げにもプラスに作
用し、当地経済の持ち直し基調を支え
ている。

今後の関西の景気については、海外
の経済・金融の動向、地政学的リスク、
原材料価格の動向、消費者物価の上
昇、賃上げの動向や人手不足等が当
地の経済金融情勢に与える影響など
を注視していく必要がある。

近畿倉庫協会連合会 各地区の十月～十二月の 概況と今後の見通し

滋賀

県内景気の現状は、一部に弱さが
みられるものの、緩やかに持ち直し
ている。

今後の景気動向は、内需を中心に緩
やかな回復が続くとみられるが、人手
不足による供給制約、海外景気の減
速、中東情勢の緊迫化に伴う原油価格
変動など、下振れリスクに引き続き注
意する必要がある。

令和五年十二月時点での倉庫指数
を前年同月比で見ると、入庫数量は前
年同月の3.6%、出庫数量は前年同
月の11.7%増加している。入庫の
増加品目は、紙・パルプ、その他の糸で
ある。出庫の増加品目は、紙・パルプ、
その他の製造工業品である。月末保管
残高数量は前年同月の4.3%減少し
ている。減少品目は、非金属鉱物、飲料
である。

「トピックス」会員会社倉庫見学会を
十一月十六日に中央倉庫大津営業所

にて開催、十八社二十一名の参加が
あった。コロナ解禁後で初めて飲酒を
伴う交流会も実施し賑やかに交流が
行われた。

京都

京都府の景気は、持ち直している。
個人消費は、持ち直しており、十一
月の百貨店販売額・乗用車の新車登録
数は、前年を上回った。観光も着実に
持ち直している。主要宿泊施設の宿泊
者数および主要観光施設等への入込
客数を見ると、着実に持ち直してい
る。京都市内主要ホテルの宿泊者数
(十月)は、前年を上回った。また、客室
稼働率は前年を上回った。

十二月の京都府下の倉庫利用状況
は、対前年同月比で入庫高は120.
3%、出庫高は118.5%と増加し
ている。保管残高は97.9%と減少
している。十二月の入庫上位五品目
は、飲料・紙・パルプ、雑品、その他の飲
料工業品、化学薬品である。

「トピックス」三月十三日に定例会・
理事会・講演会を開催。川崎重工業
(株)から講師を招いて「物流業界向け
ロボット活用の取り組み」の講演を
行う。

大阪

大阪の十一月の概況は、全般に荷動
きは低調であった。十一月の入庫高は
前年同月比で91.1%、出庫高も前
年同月比で92.4%、また前月比で
見ても、入庫が93.9%、出庫が9
8.3%と入出庫ともに低調であっ
た。十一月は若干の出超となったの
で、保管残高は前月比で98.4%と
なった。

品目別で見ると、前年同月比で入出
庫とも好調であったのは、その他の化
学工業品で、入庫が101.0%、出庫
が113.1%、回転率も61.3%と
好調だった。また米も入庫が148.
6%、出庫が128.3%と好調だっ
た。一方、前年同月比で入出庫とも低
調であったのは飲料で、入庫が97.
6%、出庫が93.3%と低調だった。
またその他の食料工業品も入出庫と
もに前月よりは上回ったが、前年同月
比では入庫が86.9%、出庫が78.
7%と低調であった。

奈良

令和五年十月～十二月までの入庫
高は対前年比79.8%と落ち込み、
出庫高は対前年比84.2%と減少し
た。保管残高は対前年比82.5%と
減少した。期中入庫高でその他の食料
工業品の大幅な減少がみられる。所管
面積は対前年比105.9%と増加し
た。会員会社二社の増床による。

「トピックス」十一月二十八日、兵庫
県三木総合防災公園にて令和五年度
関西広域応援訓練(実働訓練)に参加。
令和六年二月二十日、第十三回トラッ
ク輸送における取引環境・労働時間改
善奈良地方協議会に出席。

和歌山

県内経済については、個人消費は、
持ち直している。生産活動は、持ち直
しているほか、雇用情勢は、持ち直し
つつあるなど、全体としては、持ち直
している。先行きについては、雇用所
得環境が改善する下で、各種政策の効
果もあって、持ち直していくことが期
待される。ただし、世界的な金融引締
めに伴う影響や中国経済の先行き懸

念など、海外景気の下振れが景気の下
押しリスクとなっている。また物価上
昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本
市場の変動等の影響に十分注意する
必要がある。

品目の状況は、令和五年十月～十二
月までの月平均品目別の入庫高では、
繊維工業品関係は865トン減(対前
年69.0%)、金属関係は1,184
トン減(対前年88.8%)、食料工業
品関係は117トン減(対前年99.
4%)、雑工業品関係は57トン減(対
前年98.3%)、化学工業品関係は
1,368トン増(対前年102.
5%)となった。

倉庫の状況は、令和五年十月～十二
月平均の実態では、入庫が96千トン
(対前年100.0%)、出庫は98千
トン(対前年101.0%)、保管残高
は223千トン(対前年102.3%)
となった。回転率は、43.4%となり、
前年同期を0.9ポイント下回った。

大阪府運輸倉庫協会

令和五年十月～十二月までの入庫
高・出庫高は減少している。主要十品
目では、雑工業品と繊維工業品が減少
している。保管残高は横ばい、今年
は46万トンに達する。それに伴っ
て、回転率が悪くなっている。今まで
はターミナルセンター的な取扱いが
多く、回転率が60%と高かったが
42.9%と下がってきている。

大阪府冷蔵倉庫協会の概況

令和五年(一月～十二月)の入庫は
前年対比で99.9%と僅かに減少、
出庫は前年対比で101.7%と増加

した。月末保管残高は前年対比で9
5.4%と減少した。入出庫はそん
なにならないが、在庫は減ってきてお
り、庫腹に余裕がある状況。
一番の問題は電気料金の高騰。20
23年に深夜電力割引が廃止された
ので、料金の値上げを荷主にお願
いしている。

大阪鉄鋼專業倉庫会の概況

十二月の粗鋼生産は、前年同月比
1.1%増の698万トンと二カ月ぶ
りの増加。

令和五年十二月の入庫量は、前年同
月比5.3%減の215千トン、出庫
量は前年同月比6.0%減の219千
トンとなり、入庫量、出庫量ともに、前
年同月でのマイナスがほぼほぼ継続
している。在庫は前年同月比16.
7%減の315千トンとなり、前年同
月比で十四か月連続のマイナスで
あった。十二月の平均回転率は68.
5%であった。

日本製鉄は十二月にアメリカの大
手鉄鋼メーカーUSスチールを買収
することで両者の間で合意したと発
表したが、アメリカの大統領選がこの
買収計画の行方に影響を及ぼしかね
ない。

近畿運輸局からの報告

倉庫業登録状況は年末にかけて新規
登録が多かった。
倉庫業法施行規則第七条(料金等の
揭示等)の一部改正した。倉庫業法第
三条の登録の基準等に関する告示が
改正された。

二〇二四年新春講演会

二〇二四年の経済を読む

日本経済新聞社 大阪本社
八木谷 勝美氏

執行役員 編集ユニット長

大阪倉庫協会では去る一月十八日(木)一年度の理事会・例会終了後、新春講演会を開催した。
概要は以下である。

まず経済予測について。政府は二〇二四年度の実質成長率をプラス1.3%とする経済見通しを示した。個人消費や設備投資が伸びて、日本経済が緩やかに回復する姿を描いている。成長率を項目別でみると個人消費は1.2%伸びる。経済成長が続く中で賃上げが二四年度も継続することにくわえて、経済政策に盛り込んだ定額減税が所得を下支えして消費が増える。設備投資は3.3%と大きく増える。企業の経常利益は二十三年七・九月期に同期として過去最高となっており、企業の稼ぎが投資に回るとみる。政府の見通しは民間予測よりも高い。民間シンクタンク十五社の成長率の予測平均は0.9%で、0.4ポイント上回る。二四年度春の春闘などで物価高を上回る賃金上昇が確認できなければ、消費は腰折れするリスクもある。

日本株が勢いを取り戻している。一月九日の東京株式市場では日経平均株価が三万三七六三円で終え、一九九〇年三月九日以来、三十三年十月ぶりの高値となった。企業の稼ぐ力やガバナンスの向上、デフレ脱却に向けた日本経済の好転を期待した買いがけん引役となっている。投資家は賃上げなど経済の好循環を二四年度以降に保てるか注視している。

二〇二四年、日本は停滞から抜け出す好機にある。物価と賃金が上がれば、凝り固まった社会は動き出す。日本を国内総生産で世界二位の経済大国に成長させた昭和のシステムは、昭和九十九年目となると時代に合わなくなつた。日本を古き良きから解き放ち、作り変える。停滞の現実を直視し、反転の未来を描かなくてはならない。経済の若返りに向け反転しなければならぬ。

次に関西景況について。日本銀行が公表している地域経済報告(さくらレポート)によると、景気の総括判断は近畿だけ良くない。近畿は輸出の不調

から「持ち直しのペースが鈍化」とされた。関西二府四県の輸出額は十一月まで七カ月連続でマイナス。大阪税関によると、関西二府四県の二〇二三年一月〜六月の輸出額に占める中国向けの割合は23%と、全国(17%)よりも高い。中国経済の減速は関西経済の下押しに直結する。関西経済は中国の依存度が非常に高いのがリスクとなっている。また輸出品目からみた関西経済の特徴は、輸送用機器(自動車)のシェアが全国に比べ非常に少ないことである。供給制約下では好材料だった。挽回生産の局面にある自動車産業が製造業全体に占める規模が他の地域に比べて相対的に小さいことが関西経済低迷の一因となっている。

中国向け電子部品の輸出は在庫調整の進捗に伴い下げ止まりつつあるが、スマホなど最終需要が弱いため回復にはいたっていない。それでも自動車向け部品で新しい需要がある。関西では村田製作所、日東電、オムロン、京セラ、ロームなどが新しい市場を捕らえているのでそんなに悪くならない。

次に設備投資と企業業績について。日本経済新聞がまとめた二〇二三年度の設備投資動向調査で、関西主要企業の投資額は二十二年実績比18.6%増である。電気自動車(EV)向けや脱炭素関連の投資が目立つ。八百七十四社を対象とした全国調査の投資額は17.3%増で、二年連続で過去最高を更新した。関西は全国よりは1.3ポイント低い。関西で最も投資額が大きいのはパナソニックホールディングスで、過去最高の七〇〇億

円を投じる。約半分にあたる三八一〇億円をEV向け電池の増産などに充て、電池投資は前年実績の4倍以上に積み増した。

企業業績については堅調である。関西の上場企業の二〇二四年三ヶ月期の純利益は、前期比2%増を見込む。製造業は中国の景気減速が影を落とす企業もあるが、値上げの浸透や円安を背景にした海外事業の回復で全体では業績が上向く。円安が電気機器や機械といった業種の追い風となった。業績が伸びた企業はダイキン工業(空調機)やGSユアサ(リチウムイオン電池)である。消費については、スーパーマーケットやコンビニは横ばい。百貨店が非常にいい。大阪、京都、神戸の各市にある主要百貨店九店舗が一月四日に発表した十二月の売上高は、全店が八カ月連続で前年実績を上回った。プロ野球・阪神タイガースの日本一祝賀セールで阪神梅田本店の十一月の売上高は前年同月比50%増だった。

関西を訪れるインバウンド数は昨年十月にコロナウイルス禍前の二〇一九年十月を上回って、一千万人ぐらゐになると言われている。中国の団体客はあまり増加していないが、韓国や米国そしてアジアからの観光客が増加している。関空は八割ぐらゐまで回復しており、ホテルの平均稼働率も非常に大きく上昇、外食産業もだいたい戻ってきている。

日銀が昨年十二月に発表した十二月の全国企業短期経済観測調査(短観)で、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数(DI)は、3ポイント改

善してプラス1.2だった。中小企業製造業は6ポイント改善のプラス1と四年九カ月ぶりにプラス圏に浮上した。価格転嫁の進展や自動車生産の回復を背景に、景気の回復基調を裏付ける結果となった。大企業非製造業はプラス3.0と九月調査から3ポイント改善した。新型コロナウイルス感染症の影響緩和や価格転嫁の進展を背景に改善した。また非製造業を中心に人手不足が一段と深刻化している。コロナ禍で減った従業員が戻らない中で飲食観光などの需要が急増したために非製造業の人手不足はバブル期なみの深刻度になっている。

二〇二四年は世界中で大型選挙が続く。台湾総統選を皮切りに、十一月に米大統領選など主要国・地域で重要な選挙が相次ぐ。選挙が各地で行われと真偽不明な情報がSNS上に氾濫する。台湾の総統選でも相当な偽情報拡散について、市民の八割が接経験した。SNSは極端に偏った情報が注目されやすい。常と同じ意見を見聞きすることでそれ以外の認識が間違っていると思ってしまう「エコーチェンバー」に陥る可能性がある。

最後に、新聞も一時期のピーク時に比べると半減している。去年一斉に値上げしたが、非常に厳しい状況である。弊社では少し前から電子版を出していたので多少余裕があり、経済が専門だということもあり工夫の余地がある。こういう状況だからこそ新聞の使命はあるのだと思っていますと締め括られた。

大阪倉庫協会の異動

代表者変更

株式会社アルプス物流	大阪営業所
(前)所長	吉村 俊一
(新)所長	今戸 英伸
インターナショナルエクスプレス株式会社	
関西支店大正物流センター	
(前)取締役関西支店長	角 俊一
(新)執行役員関西支店長	鈴木 友章
株式会社ガスケミカル物流西日本倉庫部	
(前)社長	須田 寿
(新)代表取締役社長	毛利 秀信
グリーン物流株式会社	
(前)会長	本社営業所 前久保 拓也
(新)社長	森山 潤一
山九株式会社 大阪支店	
(前)支店長	田村 圭
(新)支店長	栗井 健太
株式会社大連	
(前)取締役会長	高橋 健一
(新)代表取締役社長	岩崎 雅信
株式会社竹尾 大阪支店	
(前)取締役常務執行役員支店長	寺本 敬一
(新)執行役員支店長	吉田 新
寺本運輸倉庫株式会社	
(前)代表取締役	寺本 雅明
(新)所長	中村 一 道貫
株式会社富士ロジテックホールディングス 大阪事業部	
ディンクス	井上 理
(前)大阪事業部長	内山 豪己
(新)大阪事業部長	大阪支店 土橋 敏
株式会社森吉物流倉庫	
(前)支店長	成田 雅彦
(新)支店長	

山忠運輸株式会社 摂津営業所

(前)社長 山川 温圓
(新)社長 榎本 健司

(令和六年四月一日)

代表者役職変更

大阪運輸株式会社	西谷 敬三
(前)代表取締役専務	西谷 敬三
(新)代表取締役	西谷 敬三
寿運輸倉庫株式会社	大阪営業所
(前)所長	野ヶ峯 芳文
(新)所長	野ヶ峯 芳文
商船港運株式会社	村山 克也
(前)物流事業部長	村山 克也
(新)執行役員物流事業部長	村山 克也
日本通運株式会社 大阪支店	
(前)総務部部長	秋山 清治
(新)コーポレートソリューション部長	秋山 清治
藤浪倉庫株式会社	藤浪 寛之
(前)代表取締役社長	藤浪 寛之
(新)代表取締役社長	藤浪 秀明
株式会社インテロロジサービス	
(前)取締役相談役	孫田 隆行
(新)代表取締役社長	松尾 智仁
NX・NPロジスティクス株式会社	
(前)代表取締役会長	合屋 隆司
(新)代表取締役会長	長嶋 敦
鴻池運輸株式会社	
(前)常務執行役員	橋爪 克浩
(新)代表取締役会長兼社長執行役員	鴻池 忠彦

大阪倉庫協会役員の異動

理事交代

藤浪倉庫株式会社	藤浪 寛之
(前)代表取締役社長	藤浪 寛之
(新)代表取締役社長	藤浪 秀明
株式会社インテロロジサービス	
(前)取締役相談役	孫田 隆行
(新)代表取締役社長	松尾 智仁
NX・NPロジスティクス株式会社	
(前)代表取締役会長	合屋 隆司
(新)代表取締役会長	長嶋 敦
鴻池運輸株式会社	
(前)常務執行役員	橋爪 克浩
(新)代表取締役会長兼社長執行役員	鴻池 忠彦

大阪倉庫協会 第六回 防災担当者会議開催

令和六年二月二十七日(火) 於協会会議室

大阪倉庫協会は、去る二月二十七日(火)第六回目の防災担当者会議を開催した。

今回は、オブザーバーとして、国土交通省 近畿運輸局から交通政策部 環境・物流課 橋本課長並びに丸山専門官、大阪府政策企画部 危機管理室より災害対策課 災害対策グループ 中地主査(災害対策総括)にお越しいただいた。

まず、筑紫常務理事から本会議の趣旨について説明した。災害時に我々の窓口となります国土交通省 近畿運輸局と大阪府危機管理室の方々と大阪倉庫協会の中で民間物資拠点として協力していただいている二十六社の方々の顔合わせが一番の目的である。防災担当者は各社とも人事異動で変わりますので、実際に顔の見える関係を作っておくことは、いざという時に非常に重要であると説明した。

次に、近畿運輸局の橋本課長からご挨拶があった。能登半島における大規模な地震により甚大な被害が発生し多くのの方が被災され、被災地に向けた国からのプッシュ型の物資支援が行われている。今回の能登半島地震では民間物資拠点の活用はなかったようですが、平成二十八年四月に発生した熊本地震では支援物資の受け入れに

対しては熊本県の地域防災計画で位置付けられていた広域物資拠点が被災したため、佐賀県鳥栖市や福岡県久山町の物流事業者が管理する民間物資拠点が活用された。営業倉庫等の物流施設は、災害対策基本法に基づく防災基本計画において、災害時の物資拠点として民間事業者のノウハウの活用が期待されている。国土交通省では

各府県が物資拠点として選定している公共施設が被災等で使用不可能になった場合に対応するため、関係業界や物流事業者の皆様と平時から連携し、災害時に広域物資輸送拠点の利用が公定される民間物資拠点のリストアップをしている。民間物資拠点リストの定期更新と施設関係等変更があればご連絡いただきますようご協力をお願いしますと述べられた。

続いて丸山専門官から、災害に強い物流システムの構築に関するこれまでの取組について説明された。過去の災害時に支援物資物流における問題は、物資拠点の不足、物流ノウハウの欠如、オペレーションの錯綜といった課題が顕在化している。物資拠点が不足した理由は公的施設の多くが被災してしまうと共に別の用途例えば避難所等に使用されたこと。災害時に利用する民間倉庫が予め指定されて

おらず、利用可能な民間倉庫を被災時に探す必要が生じたこと。また物流ノウハウの欠如、オペレーションの錯綜については官と民のオペレーション上の役割分担が不明確であったこと。プロではない自治体職員がオペレーションを行ったことで在庫管理が効率的に出来なかったことがあげられる。

このような課題を受けて、国土交通省として大規模災害時の支援物資輸送に関する様々な取組を行っている。一つ目は民間物資拠点のリストアップ。令和五年三月末では全国で一七五五拠点、近畿運輸局管内では一七一拠点がリストアップされている。二つ目は官民の協力協定の締結促進。都道府県と物流事業者団体との間の輸送・保管・物流専門家派遣に関する協定の締結を進めている。

次にラストマイルにおける円滑な支援物資輸送の実現に向けた取組について。平成二十八年熊本地震においてラストマイル輸送の混乱等の課題が明らかになったことから、避難所までの支援物資輸送の最適化のため「ラストマイルにおける支援物資輸送・拠点開設・運営ハンドブック」を策定し、全国の自治体に周知した。ハンドブックの策定後も自然災害は激甚化、頻発化しているので、ハンドブックに反映されていない新たな課題も生じたことから地方公共団体の取組の好事例等を紹介するとともに新たな課題への対応策について整理を行い、令和五年三月にハンドブックの改訂を行った。

続いて、大阪府危機管理室の中地主査からは、能登半島地震における大阪府の支援について説明があった。

一つ目は人的支援。緊急消防援助隊が一月一日から動き出し現地向かって救援活動を実施した。医療人材の支援として、DHEAT(医師・薬剤師・保健師等のチームで災害現場での医療支援体制を整える)、DPAT(精神科医、看護師等のチームで災害発生時の精神医療ニーズに対応する)、DMAT(災害発生から四十八時間以内に活動できるよう訓練された医療チームで災害現場でトリアージ、重症患者の治療などにあたる)、DWAAT(福祉の専門職のチームで災害時の福祉の支援をする)を派遣し石川県内で活動している。また被災建築物応急危険度判定士が国土交通省からの要請で活動した。

二つ目は物的支援。一月四日、五日発で石川県の七尾市と羽咋市に物資(食料・飲料水・毛布・おむつ・ブルーシート等)を送った。断水をしているので、日本水道協会の要請をうけ、給水車を派遣した。三つ目は義援金の受付。義援金については一月五日から受付を開始しており、二月十八日現在で一億八三六二万以上集まった。四つ目は、被災された方のために府営住宅・マンスリーマンションの無償提供。五つ目は大阪府のカウンターパートである輪島市への人的支援。避難所運営などを支援するために職員を派遣している。

大阪防災アプリを一月三十一日からスマートフォン等で利用できるよう提供している。特徴としては、差し迫った危険等はプッシュ通知で知らせる。位置情報を利用して土地勘のない場所でも自分がある場所の防災情報を受け取れる。是非活用くださいと締め括られた。

挨拶が終わったところで、大阪倉庫協会の生田次長から今年度の防災関係の取組について報告を行った。

一つ目は、昨年十月二十七日にZOOMによるオンラインで開催された令和五年度関西広域応援訓練(図上訓練)に参加。関西広域連合を構成する



自治体や連携県、民間物流業者など四十三団体八十五人が参加。訓練の内容は、午前中はワークショップで、訓練の概要説明、緊急物資円滑供給システム及び0次物資拠点運用マニュアル等の説明、民間事業者による「災害時における物資支援の取組み」の講義があった。午後からは図上訓練で、0次物資拠点開設、運営訓練、物資調整訓練があった。

二つ目は、昨年十一月二十八日に兵庫県立三木総合防災公園で実施された令和五年度関西広域応援訓練(実動訓練)に参加。関西広域連合を構成する自治体や連携県、民間物流業者など四十六団体九十六人が参加。訓練の内容は、午前中はワークショップで、訓練進行の説明、訓練概要の確認、0次物資拠点運営に係る物資レイアウトの検討、車両動線などの検討、「物資を取り扱う際の安全講習」の講義があった。午後からは倉庫での実働訓練で、物資受入訓練、複数パターンの荷受け作業を模擬、出荷調整・物資搬出訓練、複数パターンの物資搬出の模擬を行った。

最後に、筑紫常務理事から今後も年に一回このような防災会議を開催して、災害時に対する意識や緊急時への具体的な対応等について、日頃から準備していくことが重要であるので、今後とも皆様とコミュニケーションを図りたいと思いますので、よろしくお願ひしますと締め括った。

二月研修会開催

大阪倉庫協会研修委員会は、二月研修会として、会員事業者が現に選任している倉庫管理主任者及び倉庫管理主任者講習会を受講済みの者を対象とした倉庫管理主任者フォローアップ研修会を開催した。

毎年二回開催される倉庫管理主任者講習会により倉庫管理主任者は確実に増加している現状から、倉庫管理主任者の実務管理能力のレベルアップを図り、以って事故防止の徹底による倉庫管理品質の向上を期すことを目的としたものである。

参加者は二十三名。受講者には受講済証が手渡された。

講義内容は次の通りである。

一・倉庫管理主任者の定義と役割、倉庫業監査、倉庫業申請手続きについて

- *倉庫管理主任者の定義と役割
- *倉庫業監査における過去の指摘事項(及び注意点)
- *倉庫業申請手続きの概要(及び注意点)

講師

近畿運輸局 交通政策部
環境物流課 主査

大崎 政洋 氏

二・自主監査制度について

日本倉庫協会独自の取り組みである自主監査制度の目的と役割について解説する。

令和六年二月八日(木)
於 協会会議室

三・自主監査のポイント

①施設、②労働災害防止、③業務(寄託・入庫・保管・出庫・料金・一般管理体制)の各監査票の項目について分かりやすく解説し、根拠となる法令、規則や参考となる「てびき」「チェックリスト」等を紹介する。

四・倉庫業法関係手続及び関係法令について

倉庫業法に基づく、申請、届出、報告等の説明を行うとともに、関係法令の留意事項を解説する。

五・終了時演習

研修内容の確認と正解の解説

六・質疑・応答等

講師

(株)NX総合研究所 コンサルタント

田代 信行 氏





高倉神社「倉暉祭」にご参拝を

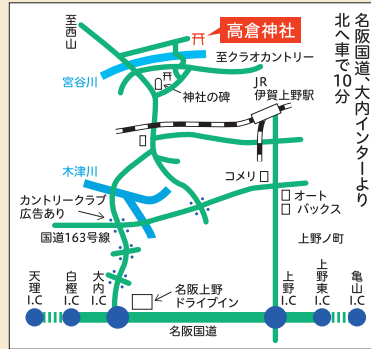
— 高倉神社付近案内図 —

倉庫業の守護神である高倉神社では、倉庫の繁栄・安全を祈念して七月十三日(土)午前十一時より「倉暉祭」が斎行されます。ご都合がよろしければ皆様おさそい合わせの上、ご参拝ください。

三重県伊賀市西高倉1046

(JR関西本線伊賀上野駅下車、

タクシー約7分)



倉庫監査実施済ステッカーの配布



令和五年度自主監査の概要報告



倉庫施設の管理、業務の適正な運営及び労働災害の防止、並びに法令の遵守に資することを目的に行う会員事業者の自主監査は、今年も一月五日から二月四日までの約一ヶ月間にかけて実施された。

令和五年度の重点項目は「倉庫施設管理の徹底」とし、この項目を中心に全項目の監査を実施した。

監査実施営業所数は三百十三営業

所(実施倉庫数六百四十七)。監査対象会社数百八十九社、監査実施会社数は百八十一社で回収率は95.8%となった。施設関係で指摘される箇所も速やかに改善措置をした報告がなされ、自主監査の意義を十分認識した監査であった。

自主監査を実施した事業者には今年も、営業所単位毎に倉庫監査実施ステッカーを配布した。

物流ひとくちメモ

正常性バイアス

新年が明けて間もない元日十六時過ぎ、強い地震とそれに伴う津波が石川県能登地方を襲い、多くの犠牲者や避難者が出ました。同地と各地を繋ぐ道路も寸断され、一部集落に物資を届けられないという、物流を生業とする我々にとってもどうかしい事態となりました。

東日本大震災発生日から十三年目にあたり、またこの連日、千葉県東方沖で「スロースリップ」と呼ば

れるメカニズムの地震が頻発しており、今後も国レベルから自分たちレベルまでの各層において地震対策を講じ、備えていかなければならないと改めて感じます。

人には非常時において「正常性バイアス(バイアス:偏向・先入観)」という心理がはたらくと言われます。これは、「そんな重大なことが起きる(起きている)はずはない」と思いながら、危険を過小視してしまう傾向です。日常生活の心配事から身を守り、心を落ち着かせようとする良い面がある一方、実際に起こっている危険から逃げ遅れる原因にもなります。

自分が地震の揺れを感じた際も、「これ以上大きな揺れは来ないだろう」「家が崩れることはまずないだろう」とつい考えてしまい、何の行動も取らない(取れない)ことが多いです。

非常時には「正常性バイアス」により、判断や対応を誤る危険性があるということを意識し、素早い危険回避行動と、有事発生後にはいち早く復旧行動を開始できるように備えておくことが我々物流業に携わる者にも強く求められると思います。

(三菱倉庫(株) 大阪支店

森本 哲也氏寄稿)

令和五年度自主監査結果の概要報告総括表

項目	指摘件数	措置済件数	措置予定件数	備考
Ⅰ. 施設関係				
1. 地盤	0	0	0	
2. 外壁・間仕切壁等	17	9	8	
3. 屋根、天井、床	35	28	7	
4. 出入口、窓、防潮板	19	19	0	
5. 消火設備	68	51	17	
6. 準危険物等の保管場所	2	2	0	
7. 盗難防止装置	0	0	0	
8. 照明設備	15	13	2	
9. 排水設備	9	9	0	
10. 塀、柵等	2	0	2	
11. 盗難・誘導灯	8	8	0	
12. 防鼠設備	0	0	0	
13. その他	17	17	0	
Ⅰ. 施設関係 計	192	156	36	
Ⅱ. 業務関係				
1. 受託業務	8	2	6	
2. 入庫業務	2	1	1	
3. 保管業務	5	4	1	
4. 出庫業務	2	1	1	
5. 料金業務	1	0	1	
6. 倉庫業法及び関係法令遵守	2	0	2	
7. 一般管理体制等	9	4	5	
Ⅱ. 業務関係 計	29	12	17	
Ⅲ. 労働災害防止関係				
1. 荷役機械の整備等	10	8	2	
2. 安全帽の着装等	0	0	0	
3. 落下防止策	4	3	1	
4. 安全衛生の意識	1	1	0	
5. その他	7	7	0	
Ⅲ. 労働災害防止関係 計	22	19	3	
Ⅳ. トランクルーム関係	0	0	0	
Ⅴ. 発券業務関係	0	0	0	
Ⅰ～Ⅴ 合計	243	187	56	

私の余技

この度は、大阪倉庫協会機関紙「蒼光」への寄稿の機会を頂戴できましたこと、心より感謝申し上げます。改めて、余技というテーマで何を書かせて頂くのか、非常に悩みました。今回参考として頂いた資料の中に、二〇一六年に父が書いたものを発見しましたので読むと、人生の彩を余技として、人生を彩った恩師との出会いについての話を書かれていました。文中にある『人生は感動なり。感動は出会いなり。出会いはいは求めるところにあり。』という言葉は、曰頃から父より伝え聞いた言葉であり、私にとっても非常に重要な言葉です。ちなみに、現在私の余技ということで挙げると、文化系趣味と体育会系趣味両方あり、文化系趣味は、読書・美術鑑賞・音楽鑑賞・映画鑑賞・スポーツ観戦・料理・ショッピング・カラオケ。体育会系趣味は、ゴルフ・ジョギング・トレッキング・街角散策・剣道となっています。これらの趣味の中にも、人だけでなく、芸術や知識や都市・歴史や景色など、すべての経験が出会いに繋がっています。私はその出会いを「自分が主人公の人生の感動貯金をしている。」という感覚があります。実はその感動貯金をするきっかけになったのは、二十代前半に経験した、二年間という短いながらも濃密な海外留学です。今回は、「私の余技」の投稿として、その海外留学の経験についてお話させて頂きたいと思います。

私がそもそも、海外留学を決心したのは、私が大学時代にアルバイトをしているときに出会った当時最先端の流通業者の店長がきっかけでした。この時アルバイトながら、仕事の幅を広げるのが楽しくて、閉店の掃除係から始まり、品出し、在庫管理、品質管理、広告作成・セールの販売など、どんどん職域を広げることに、店長とお話する機会が増え、いきました。例えば、経営合理化の

す。そのことが家業を継ぎたいという決意に繋がったわけですが、と同時に物流という仕事、また倉庫業という業種について、明確に理解したいという欲求にも駆られました。日本には当時物流の専門課程を有する高等教育機関がなく、海外では可能であったため、留学することを決意し、イギリスの物流の専門機関としては名門であるクランフィールド大学の修士課程に進学しました。

物流がどのように課題解決に役立つことができるかを体系的に学べました。海外にでて、特に実感したことは、しっかりとした人間関係を構築するためには、まず自分がどのように考えているのか明確に伝える必要があることです。まずは「私はこう考えています。」が言えない人には、会話の順番が回ってこないのです。どのような学科のどのような議論でも、授業で学んだことや書籍で得た知識を自分自身の言葉に変えて伝えることが重要になります。どんな些細な出会いでも、自分事と捉えて大切にすること、この信念はこの時に叩き込まれたのです。

阪南倉庫株式会社
代表取締役社長

堀畑 浩重



続
254

ためにセントラルキッチン化の是非や、在庫管理、経営管理、顧客満足度についてなど、店長を含む多くの店員の皆さんと夜な夜な酒場で語り合いました。その結果、流通業に強い関心を持つようになり、そのことが物的流通である家業への強い興味に繋がりました。承継を決意したのです。私はとにかく探求心が旺盛で、何かに興味を持つとトコトン突き詰める性格で

この学校では、ヨーロッパやアメリカなどから優秀な学生が集まり、一般的なクラスでの授業と合わせて、物流の専門家のたまごとして、大学から様々な企業に派遣される実務授業もありました。例えば、自動車産業の品質保証のための部品在庫の保管期限と顧客満足度の分析、新規設備投資の投資効果分析、配送拠点の最適化システム理論構築など行い、

したので、限定的であるからこそ、この時この瞬間しか会わない人たちも多くいました。ただ、一人一人、しっかりと向き合って過ごした人達との思い出は、その後三十年経っても色あせることなく残っており、自分自身の人生を華やかに彩ってくれています。友人の友人のお勧めで、なぜかイギリスからスペインの美食の街サンセバスチャンに強行軍で移

動してからの徹夜のクリスマススイーパーティー、派遣された企業の皆様との「大酒飲み選手権」参戦、そして優勝。エジンバラ城での夢のようなバグパイプコンサート。その頃の思い出を挙げると、ちよつとクスッと笑ってしまった、懐かしくて切ない気持ちになったり、感動して涙がこぼれたり、長い年月が過ぎた今でも昨日のこのように五感に触れることができる大切な思い出が多く、過ごした長さではなく、刹那であつても深い思い出を残ることをこの海外留学から実感できました。二十代前半で海外に留学した時に凝縮された時間の中で出会う様々な出会いが、以降二十年、三十年と過ぎた後にも心に強く残っています。衝撃的な出会いの体験をしたからこそ、時間や回数に囚われない感動的な出会いの大切さが理解できました。そして、私自身が主人公の物語は今も続いています。五十才を過ぎた中で重要な場面は、職場の倉庫という仕事に関わる様々な場所での出会いです。大阪倉庫協会の皆様と一緒する会合や勉強会、宴席。ゴルフや研修など、自分事としてしっかりと深く没入していきたいと思っています。これからも、父の言葉を胸に、多くの方との出会いを大切に、歩いて行くことを決意して、拙文を締めさせて頂きたいと思います。長文お読み頂き本当にありがとうございます。